

郷土料理「かぼちゃ団子」に 想いを込めて

上田 卓司 (うえだ たくじ)
 上田ファーム(株) 代表取締役

苫前町は、北海道の北西部に位置する、海と山に囲まれた自然豊かな地域で、日本海から吹き付ける風を活かした風力発電を導入している風車の町です。

ここで就農している上田ファーム(株)は「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクールで奨励賞を受賞しました。

《きっかけ》

上田さんは、進学のため苫前町を離れ、関東圏で会社員を務めた後、2014年にUターンして家業を継ぎ就農しました。以前から、苫前町の農産物を使った加工品の製造に挑戦したいと考えていましたが、就農当初は仕事に慣れることに精一杯で、なかなか実現できませんでした。

ようやく農業に慣れてきた2016年、特産品のかぼちゃを使用した加工品の開発に着手し、ついに「かぼちゃ団子」の製造販売を実現しました。

加工品として北海道の郷土料理であるかぼちゃ団子を選んだ理由は、関東圏のスーパーなどではほとんど目にすることがなく、また近所の方もかぼちゃ団子を知らなかったため、自分で生産した美味しいかぼちゃで団子を作り、全国の方に食べていただけるようになれば良いのではと思ったからです。

レシピ開発は家族の協力のもと行い、試行錯誤の末、ようやく完成させました。かぼちゃ団子は、プレーン・



チーズin・あんこの3種類あり、その他に、かぼちゃプリンなども開発し、2019年製造販売部門を法人化しました。



かぼちゃは8月から10月の2か月間、毎日収穫できるように作付けしています。現在、生産しているかぼちゃは人気品種のロロンで、なめらかで上品な甘味があり、かぼちゃ団子に適しています。

《生産者のブランド化》

上田ファームは、『安心・安全』を第一に考えています。これは当たり前のことですが、消費者にとっては最も大切な事だと感じるからです。安全は基準値をクリアすることで実現できますが、安心は消費者の信頼が無ければ成り立ちません。そのためにも生産から加工販売まで行い、良いものを作り続けることが信頼関係を築き消費者の安心に繋がっていくと考え、生産者自身のブランド化を目指しています。

《地域の発展のために》

苫前中学校の総合学習の授業で、特産品のかぼちゃを使用したかぼちゃ団子の作り方を指導し、地域の子どもの食育に貢献していま



す。また、町内で生産加工することにより、通年雇用の場が生まれると考えています。何より、全国に苫前町を知ってもらえることで町への恩返しができると思っています。

また、いずれは生産部門も法人化して、関東圏に上田ファームの直営店を作りたいとのこと。

家族全員で、『安心・安全』な商品を消費者にお届けして、美味しい笑顔になってほしいという想いが力強く伝わってきました。

※ 当協会ホームページ、開発調査総合研究所・調査研究報告書から「わが村は美しくー北海道」第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子をご覧ください。